

## 4. 学 生 生 活

### 4. 1 健康管理

#### ■定期健康診断

毎年4月～5月に学校保健安全法に定められている健康診断（内科健診、眼科健診、耳鼻咽喉科健診、胸部X線検査、尿検査）を実施しています。

また、次年度修了見込み学生を対象に就職活動のための健康診断を行っています。健康診断書が必要な学生は必ず受診してください。実施日に受診しなければ医療機関にて自己負担で受診することになります。

健康診断の日程については、学内掲示板やユニバーサルパスポートで周知しますので必ず受診してください。

#### ■保健室

けがや体調不良の場合の応急処置や健康相談に応じることができます。校医を含め、病院等も紹介します。病気にかからないよう各自予防に努めることが大切ですが、気兼ねなく学務部学生支援担当を訪ねてください。

#### ■健康保険証・遠隔地被保険者証

病院で診察を受ける際に、保険証の提示が必要ですので常に携帯してください。

### 4. 2 学生保険

#### ■学生教育研究災害傷害保険

この保険は、講義や学校行事中あるいは課外活動中に不慮の事故により災害を被った時の救済制度であり、本学では大学負担で全員加入しています。その概要は、入学時に渡された「学生教育研究災害傷害保険加入者のしおり」に記載されておりますのでよく読んでください。

#### ■学研災付帯賠償責任保険

この保険は、講義中・学校行事中・課外活動中において相手にけがをさせた、他人の物を壊したなどの賠償するための保険で任意加入となります。加入希望者は学務部学生支援担当で手続きをしてください。特に、他の機関で研究活動を行う場合には加入することが望ましいです。

#### ■青森県交通災害共済保険

交通事故による災害を受けた時に救済を図るための制度で、本学では通学中の配慮として大学負担で全員加入しています。24時間日本国内において自転車を含む車両が絡む事故に適用されます。

■災害にあった場合には速やかに学務部学生支援担当まで申し出てください。

### 4. 3 学生相談室・学生支援センター

本学では、学生相談室を設けています。カウンセラーをはじめ相談員があらゆる問題について相談に応じています。利用を希望する場合は学務部学生支援担当へ予約を入れてください。また、様々な理由で学習や研究、人間関係などにおいて困難を感じている学生に対してサポートを行う学生支援センターも開設しています。困りごとがあったら相談してください。加えて、指導教員、学務部学生支援担当でも相談に応じています。学生生活を不安なく、有意義に過ごしてください。

### 4. 4 通学

本学周辺には下宿、アパートが多くあり、徒歩での通学が可能です。車両通学

をする学生は、八戸工業大学車両通学に関する規程（5. 諸規程5.1 8参照）を守り安全運転を心がけ、事故のないように通学してください。

■通学定期乗車券と通学証明書

◆JRについては乗車駅で通学証明書を提出し購入します。通学証明書は学務部学生支援担当に申し込み、交付を受けてください。

◆バスについては各営業所の窓口にて備え付けの申込用紙に必要事項を記入し、学生証を提示することで購入できます。

■車両通学について

車両（原付、自動二輪車、四輪車）通学を希望する学生は許可を得る必要があります。

◆四輪車での通学を希望する学生は、必要書類を整えて学務部学生支援担当へ願い出てステッカーの交付を受けてください。ステッカーを所定の場所に貼付していないと駐車できません。

◆原付、自動二輪車も同様に許可を受け、二輪車専用駐車場に駐車してください。なお、二輪車専用駐車場、四輪車指定駐車場以外に駐車すると、緊急車両等の通行の妨げや交通事故発生の要因となったり、あるいは周囲の住民に迷惑をかけることになるので注意してください。

#### 4. 5 学生旅客運賃割引証（学割）

JRを利用して旅行する場合は、学割を利用できます。学割を必要とする際は、証明書自動発行機を利用してください。

学割は、旅客鉄道株式会社（JR各社）の営業キロで100キロメートルを超える区間を乗車する際に利用できる制度です。

発行にあたっては、帰省、正課及び正課外の教育活動、就職のための受験等の目的をもって旅行する必要があると認められる場合に限り発行することができます。

有効期限は発行日から3か月です。学割の使用にあたっては、学割裏面の使用上の注意をよく読んで、規則を厳守し、使用してください。

フェリーを利用する場合は、乗船券を購入する際に学生証を提示してください。

#### 4. 6 奨学制度

本学の学生が受けられる奨学金制度には次のようなものがあります。

■八戸工業大学大学院特待生

学業優秀な学生の就学を促進し、有為な人材の育成に資することを目的とし、授業料を減免する特待生制度が用意されています。

※詳しくは、学務部教務担当まで問合わせてください。

■日本学生支援機構奨学金

(1) 奨学金貸与の趣旨

勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として貸与するものです。

## (2) 申込資格

学校教育法による大学院に在学する者（入学内定者を含む）で人物・学力ともに特に優れ、大学院において勉学を継続するために、日本学生支援機構の奨学金の貸与が必要不可欠であると認められる者に限ります。

※詳しくは、学務部学生支援担当まで問合わせてください。

### 4. 7 ティーチング・アシスタント（TA）制度

大学院に在籍する学生に、教育指導に関する実務の機会を与えるとともに、学部学生に対する教育効果を高めるため、TA制度を実施しています。TAは、学部の授業科目のうち、実験、実習、演習等について、当該授業担当教員の指示に従い、授業に関する補助的業務を行います。

### 4. 8 リサーチ・アシスタント（RA）制度

大学院博士後期課程に在籍する学生に、研究者としての研究遂行能力の育成を図るため、RA制度を実施しています。RAは本学で行う研究プロジェクト等を効果的に推進するため研究補助者として、当該研究活動に必要な補助的業務を行います。

### 4. 9 アルバイト

学務部学生支援担当では勉学に影響のない程度のものについては掲示で紹介しています。

### 4. 10 下宿紹介

学務部学生支援担当では下宿紹介を行っています。登録下宿は、概ね次のとおりです。なお、アパート紹介はしていません。

部屋の広さ 下宿料（2食付）

6畳以上 44,000～50,000円

### 4. 11 学友会

学生は入学と同時に本学の学友会の会員となります。学友会とは、学生相互の親睦を深め、自主的サークル活動を行うなど人間性を高め、有意義な学生生活を送るうえでの母体となっているものです。

諸規程については学部学生に準じます。

### 4. 12 課外活動

大学教育の中で正課授業とともに重要な教育的な意義をもつのが課外活動です。この活動を通じて、協調性、忍耐力などを養成し、また、多くの友人をつくり、より楽しい学生生活を過ごせるものと思います。

学生が中心になって自主的に行われる課外活動には、体育会所属の体育スポーツ系、文化会所属の文化芸術系あわせて約70団体あり、学内外において活発に活動しています。

#### ■サークルへの入部、入会

本学の課外活動への入部、入会に関しては、学部学生と同様です。

#### ■サークルの結成、継続、廃部など

新しいサークルの結成を希望する学生は、団体結成願の用紙に必要事項を記入の上、学務部学生支援担当へ申し出てください。また、各サークルは毎年度始め

に団体継続届を提出しないと廃部、廃会となるので注意してください。解散する場合は団体解散届を学務部学生支援担当へ提出しなければなりません。

#### 4. 1 3 就職

就職活動は、各専攻の指導教員と学務部就職支援担当が中心となって求人への紹介、斡旋を行っています。

就職上の資料は学務部就職支援担当に用意してあるので参考にしてください。具体的な就職活動については、指導教員とよく相談してください。

国家公務員や地方公務員をめざす学生は、公務員試験を受験し合格しなければなりません。就職ガイダンス、模擬試験などが随時開催されているので掲示をみて積極的に活用してください。なお、企業求人の情報については、本学就職情報検索システムを積極的に利用し、活動に役立ててください。

#### 4. 1 4 資格

大学院修了後に修得できる資格については、基本的には学部学生と同じです。資格については、各自で申請することを原則としています。不明な点があるときは指導教員に相談してください。

##### ■教育職員免許状

大学において、すでに中学校教諭一種免許状（技術）または高等学校教諭一種免許状（工業）を授与されている者で各専攻の博士前期課程を修了し、規定の単位を修取した者は、次の教員免許状を取得することができます。

機械・生物化学工学専攻	中学校教諭専修免許状（技術） 高等学校教諭専修免許状（工業）
電子電気・情報工学専攻	中学校教諭専修免許状（技術） 高等学校教諭専修免許状（工業）
社会基盤工学専攻	中学校教諭専修免許状（技術） 高等学校教諭専修免許状（工業）

##### ■電子電気・情報工学専攻

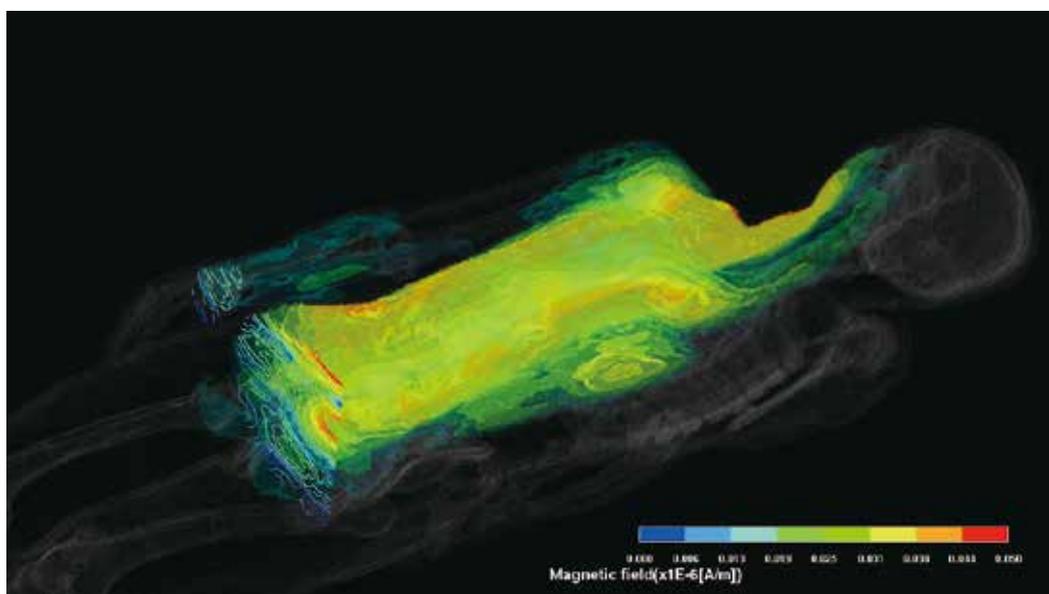
###### 電気主任技術者

本学電気電子工学科または電気主任技術者免状に係わる認定大学を卒業した者は、本学大学院電子電気・情報工学専攻において、表1にかかげる学科目を修得して不足単位を補充できます。

表1 区分別学科目一覧表

区分	学 科 目	単位	区分	学 科 目	単位	
1. 電気電子理論	◎科目 磁性体工学特論	2	3. 電気利用等	◎科目 マルチメディア工学特論	2	
	○科目 光エレクトロニクス工学特論	2		◎科目 知能情報学特論	2	
	○科目 半導体工学特論	2		◎科目 制御システム工学特論	2	
	2. 電力発生輸送	○科目 量子エレクトロニクス特論	2	○科目	○科目 計測システム工学特論	2
		○科目 プラズマ工学特論	2		○科目 情報システム工学特論	2
		○科目 気体電子工学特論	2		○科目 ネットワーク工学特論	2
		◎科目 誘電体工学特論	2		○科目 マイクロ波工学特論	2
○科目 エネルギー変換工学特論		2				
○科目 エネルギーシステム工学特論	2					

備考 卒業大学の電気主任技術者免状に係わる区分別学科目一覧表と上記の表1を参考にして、単位を取得すること。



「数値人体モデルの解析」

高周波誘電加温による癌の温熱療法の治療効果を高精度かつ定量的に評価するため、スーパーコンピュータでの数値人体モデルの大規模並列解析、およびその可視化について研究している。階層型領域分割法という並列解析手法を用いて160億自由度数値人体モデルの解析を約10分で行うことに成功し、さらにこの解析によって得られた膨大な解析データを用いた可視化にも成功した。図は右上半身の磁場を等値面で表したものである。

(機械・生物化学工学専攻)